

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名		市民課窓口サービス向上事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務部	課長名 久留 伸二
	施策	25	行政改革の推進			所属課	市民課	担当者名 中嶋 民智
	基本事業	87	市民サービスの向上			所属班	市民窓口班	(内線) 1112
予算科目	会計一般	2	3	1	11095	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
	終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	住民の窓口業務に対するニーズは多様化してきており、職員はニーズに答えるため来客に対しての迅速な対応、きめ細かな対応を求められている。また 個人情報保護法など個人情報の慎重な取り扱いが求められている。住民サービスの向上を更に進めるため、平成23年4月より毎週日曜日(午前9時から午後1時まで)合志庁舎のみ窓口を開庁し、証明等の発行業務を行ってきた。
【業務の流れ】	課内(支所含む)事務改善定例会の実施・市民課窓口業務向上アンケート調査の実施・日曜開庁
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	日曜開庁施行事業のアンケート結果から西合志庁舎での日曜開庁や平日の夜開庁の要望がでている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
事務改善定例会の実施・窓口事務向上アンケートを繁忙期に実施	23年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 検討会開催回数	回
→ イ: アンケート実施回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
来庁者	→ ア: 来庁者 人
	→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
迅速な対応、きめ細かな対応により満足度の高いサービスを受けられる	→ ア: 窓口サービス等の苦情件数 件数
	→ イ: 窓口アンケート結果の総合評価点数 点数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
住民の窓口業務に対するニーズは多様化してきており、職員の迅速・丁寧な窓口対応をすることで住民から信頼される職員であるために、アンケートの実施結果に基づき、より満足度が高いサービスを提供するため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
①活動指標	ア	回	12	12	12	12	12	12	12	12
	イ	回	1	1	1	1	1	1	1	1
②対象指標	ア	人	134,171	134,781	135,000	133,366	135,000	135,000	135,000	135,000
	イ									
③成果指標	ア	件数	2	2	1	2	1	1	1	1
	イ	点数	4.3	4.22	4.4	4.27	4.4	4.4	4.4	4.4
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
人件費	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	16	18	16	22	22	22	22	22
人件費	延べ業務時間	時間	300	259	300	4,740	5,000	5,000	5,000	5,000
	(B)人件費計	千円	1,194	1,067	1,236	19,140	20,600	20,600	20,600	20,600
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,194	1,067	1,236	19,140	20,600	20,600	20,600	20,600

事務事業名	市民課窓口サービス向上事業	所属部	総務部	所属課	市民課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 23年度についてもこれまで同様、繁忙期に窓口アンケートを実施したが、回収率で各支所等のばらつきはあったものの、これまでで一番の回収数であった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 窓口アンケートの回収率について、各支所等のばらつきがないように積極的にアンケートに応じてもらえるよう努力する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 住民が快適に暮らしていくためには、職員の接客に対する姿勢、資質について、さらに向上させる余地はあると思う。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市民課業務における窓口サービス向上を目的としており、現体制では統廃合は難しい。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 窓口での住民サービスを目的としたものであり、事業費はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 窓口での住民サービスを目的としたものであり、事業費はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市民に公平・公正な対応を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 職員の接遇等の向上を目的としているため適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

23年度は繁忙期に窓口アンケートを実施してみたが、目立った苦情等はなかった。・アンケートの回答数は増加したが、回収率で各支所でのばらつきがあった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後も、窓口サービスの向上を目指して、市民からのいろいろな意見を聞くためにアンケート調査を継続していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						